

1. 糖尿病足病変診療（フットケア）の医療技術支援事業

独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター

【現地の状況やニーズなどの背景情報】

ASEAN 諸国に糖尿病が急増し、足潰瘍や壊疽などの糖尿病足病変で下肢切断を余儀なくされる患者が増加している。ASEAN 諸国には糖尿病足病変診療の専門医療職がきわめて少なく、診療技術が低いことが高い下肢切断率の主因の一つとなっている。

【活動内容】

京都医療センターは WHO 糖尿病協力センターを有し、これまでも西太平洋地域のフットケア啓発活動に携わってきている。京都医療センター・関西電力病院・京都大学病院が共同し、ベトナム（6 施設）、カンボジア（3 施設）の医療従事者（医師、看護師）の研修受け入れ（18 名）と両国への専門家（4 名）派遣を行い、わが国のフットケア診療技術の移転を図った。

【期待される成果や波及効果等】

ベトナム・カンボジアの医療従事者（医学生を含む）にフットケア技術を指導した（研修受け入れ計 18 名、現地セミナー参加者計 375 名）。フットケアマニュアルを作成し配布した。今後、診療技術が次第に向上し、両国の下肢切断率が下がることが期待される。糖尿病入院患者の 50～80%が足壊疽患者であり、継続的な支援が必要と考えられる。

<研修実施結果>

カンボジア（8/24～9/4）、

ベトナム（10/19～29）から

研修生受け入れ（各 9 名ずつ）

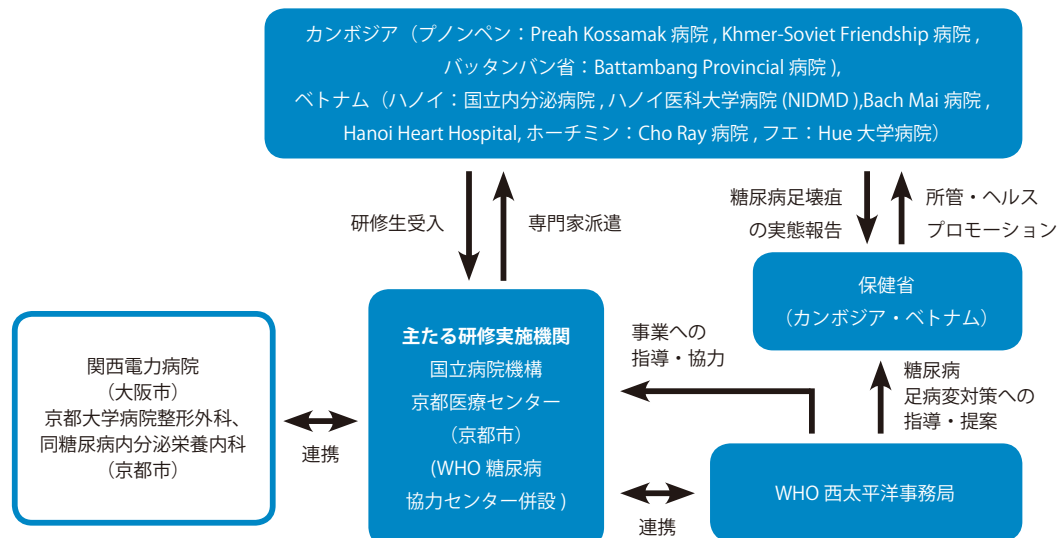
- ・糖尿病足病変診療（フットケア）の技術履修のための研修

12 月専門家派遣

（カンボジア・プノンペン 2 病院、

ベトナム・ホーチミン 1 病院、ハノイ 3 病院）（4 名派遣）

・糖尿病足病変（フットケア）に関するセミナー開催（参加者：カンボジア 60 名、ベトナム計 315 名 / 4 施設）と 6 病院での患者回診、診察、指導。フットケアマニュアルの送付（12 月）





西太平洋地域における 糖尿病足病変



西太平洋地域(WPR)において糖尿病足病変(足潰瘍、壊疽)が増加し、下肢切断にいたる症例が急増している。

WPRにおける糖尿病足病変診療の問題点として以下の点があげられる。

- 1) 欧米のようなフットケアの専門家が極めて少ない。
- 2) 糖尿病足病変の発症、治療の実態が不明で、下肢切断率が高い。
- 3) ライフスタイルや文化が他の地域とは異なり、欧米のエビデンスを基にした国際診療ガイドラインがそのまま適応しにくい。

京都医療センターWHO糖尿病協力センターの国際医療協力活動 - 西太平洋地域の糖尿病フットケアの診療指導、人材養成の歴史 -

増加する糖尿病足壊疽と足切断

ASEAN諸国、WHO、IDFからの支援要請

現地での診療指導
(2004～)

国際医療協力活動(現地、日本での診療指導・人材養成)



カンボジア



ベトナム



インドネシア



フィリピン



タイ



シンガポール

(目的) 糖尿病フットケア技術の習得と向上と足切断の減少

日本での診療指導・人材養成
(2000～)

Kyoto Foot Meeting



IDF-WPR Foot Care
Project Meeting



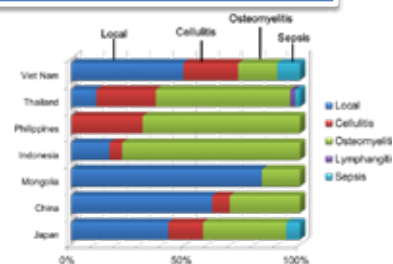
WPRにおける糖尿病足病変の背景のまとめ

	Thailand	Indonesia	Cambodia
Length of stay	10.8 days	26.8 days	28 days
Antibiotics	952 USD	645 USD	336-812 USD
Amputation	760-1560 USD	1413 USD	150 USD
Revascularization	4000 USD		300 USD
Total (Direct)	5473 USD	5200 USD	680-1800 USD
GDP per capita	5394 USD	3511 USD	853 USD

“高い”医療費



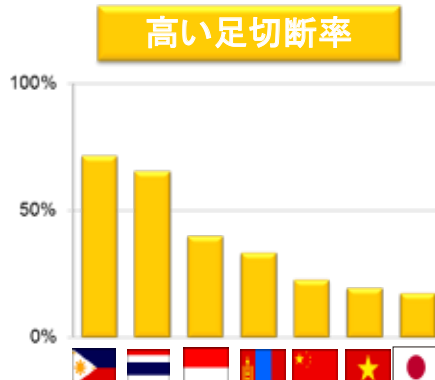
専門家の不足



重症足感染症



知識の不足



自己処置

(ASIPAC FOOT STUDY より)

ベトナム・カンボジアにおける糖尿病足病変診療(フットケア)の医療技術支援事業 —研修受け入れ—

関西電力病院



京都医療センター



京大病院



カンボジアからの研修生(医師6名、看護師3名)(2015.8.23-9.5)

プノンペン: Preah Kossamak 病院, Khmer-Soviet Friendship 病院,
バタンバン省: Battambang Provincial 病院



ベトナムからの研修生(医師7名、看護師2名)(2015.10.18-10.23.)

ハノイ: 国立内分泌病院, ハノイ医科大学病院(NIDMD),
Bach Mai病院, Hanoi Heart Hospital,
ホーチミン: Cho Ray 病院, フェ: フェ大学病院

ベトナム・カンボジアにおける糖尿病足病変診療(フットケア)の医療技術支援事業(研修受け入れ)

-カンボジアにおける糖尿病フットケア人材養成:2015年8月24日～9月4日-



講義



フットケア見学・実習
手術見学



検査見学



栄養指導
(京大病院)



フットケア
実習・教育
(関電病院)



ベトナム・カンボジアにおける糖尿病足病変診療(フットケア)の医療技術支援事業(研修受け入れ)

-ベトナムにおける糖尿病フットケア人材養成:2015年10月19日～10月29日-



講義



フットケア実習
リハビリ見学



検査見学



フットケア
実習
(京大病院)



フットケア
栄養指導
実習・教育
(関電病院)

ベトナム・カンボジアにおける糖尿病足病変診療(フットケア)
の医療技術支援事業(現地指導)
-カンボジアにおける糖尿病フットケア人材養成:2015年12月7日～8日-



講義



回診での直接指導



カンファレンス・回診での直接指導



Preach Kossamak
Hospital, プノンペン



Khmer-Soviet Friendship Hospital,
プノンペン

ベトナム・カンボジアにおける糖尿病足病変診療(フットケア)
の医療技術支援事業(現地指導)
-ベトナムにおける糖尿病フットケア人材養成:2015年12月9日～11日-



講義



講義



病棟回診
Cho Ray Hospital
ホーチミン



ハノイ医科大学

ベトナム・カンボジアにおける糖尿病足病変診療(フットケア)
の医療技術支援事業(現地指導)
-ベトナムにおける糖尿病フットケア人材養成:2015年12月9日～11日-



講義



病棟回診指導



国立内分泌病院、ハノイ

ベトナム・カンボジアにおける糖尿病足病変診療(フットケア)
の医療技術支援事業(現地指導)
-ベトナムにおける糖尿病フットケア人材養成:2015年12月9日～11日-



装具
作製
指導

Bach Mai Hospital, ハノイ

ベトナム・カンボジアにおける糖尿病足病変診療(フットケア)の医療技術支援事業

今後の課題

- ・ 人材養成の継続支援(とくに難治症例診療)が必要
- ・ 研修受け入れや現地指導を通じてわが国のフットケアの医療技術がベトナム、カンボジアで広まっていくかを検証する必要がある
(現地スタッフ(受講生)による教育研修会開催など)